

藍住町 議会だより

第48号

平成19年2月25日

発行 藍住町議会
 編集 議会だより編集委員会
 徳島県板野郡藍住町奥野
 字矢上前52-1
 電話 (088)637-3127
 FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



すみよし団地自主防災隊 防災訓練

CONTENTS

12月定例会	P.2
総体質問	P.3
議員5人が一般質問	P.5~9
常任委員会報告	P.10
議会のうごき	P.12

12月定例会

12月定例会が12月11日から21日までの11日間の会期で開会された。

平成17年度一般会計決算など12議案と議員提案の3議案を原案のとおり可決した。

町長

提案

- 平成17年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町一般会計補正予算について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算について…………… 原案可決
- 平成18年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）補正予算について…………… 原案可決
- 幼稚園の授業料に関する条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町情報公開条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町個人情報保護条例の一部改正について…………… 原案可決
- 監査委員条例の一部改正について…………… 原案可決
- 藍住町町税等の滞納に対する特別措置に関する条例の制定について…………… 原案可決
- 藍住町土地開発公社定款の一部改正について…………… 原案可決
- 徳島県後期高齢者医療広域連合の設立について…………… 原案可決

議員

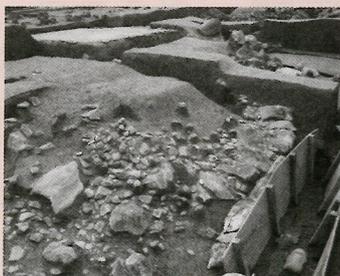
提案

- 森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書について…………… 原案可決
- 消費税の税率引き上げに反対する意見書について…………… 原案可決
- 乳幼児医療費無料化制度の創設を求める意見書について…………… 原案可決

町からの主な報告

勝瑞城館跡追加指定・文化審議会から答申

告示の手続きが完了すると、国史跡に指定される。指定後は早期に公有地化を図っていきたい。



庭園跡（池東岸）

町政懇談会の実施結果

町内八箇所で一四三名の住民が参加され、様々な意見をいただいた。今回の提言を、これからの町政運営にいかし、財政の健全化を図りながら魅力あるまちづくりを進めたい。

指定ごみ袋の有料化

ごみの減量化と処理費用抑制のため平成十九年度から実施したい。責任がより明確化し、ごみへの

総 体 質 問

問

行政事務は住民のためのものでなくてはならないが、し尿収集運搬業務の民間委託を行財政改革の一環として決意したことは正しいことといえるのか。

答

本町のこれから将来のことを考えた場合、民間委託はすべきであると考える。住民の皆様には傷みを覚えるものかもしれないが、政治生命をかけて行財政改革に取り組んでいく決意である。

問

中央クリーンステーション工事請負費補正予算、一千七三三万円の内訳は。

答

トラックスケール導入のため機械と工事、電算オンライン化の費用である。

問

答

ごみ袋の有料化でごみは減るのか。有料化を実施した近隣市町へ担当者 が研修に行っており、有料化実施後には減量の傾向になったと聞いている。

問

ごみ袋有料化は、地域住民とごみ減量化について共通した認識を作っていくため、再検討をすべきでは。

答

住民の方に御理解いただかなければならない大きな問題と認識している。平成十九年九月からの有料化を予定しているが、それまでに、広報紙等での広報や、ごみ袋の無償配付の実施、駐在員への説明、また、希望があればその地区へ出向き住民説明



し尿収集車

問

し尿収集の民間委託、ごみ袋有料化を実施しなければ財政破綻するの。行財政改革は住民のためのもではないのか。

答

この時期に改革を推進していかねければ、将来にもっと大きな付けが来ると考えられる。行財政改革が成功するよう精一杯努力をしていくつもりである。

予算修正 動議

定例会最終日に、平成18年度藍住町一般会計補正予算についてに対する修正動議が提出され、修正案は否決された。

修正案の内容は、補正予算に計上されている町指定ごみ袋導入に伴う試作品とごみ分別ハンドブック制作費500万円と、中央クリーンステーションの民間委託の計画に伴うトラックスケール工事請負費1,732万円の計2,232万円について、住民との合意を得るまでこの両事業は中止すべきであるとのことから、減額修正を求めるものであった。

意識が一層高められ、減量化が図られるものと考えている。

し尿処理施設の民間委託

民間企業のノウハウを活用し、住民サービスを維持しながら事務の効率化を図るため、平成十九年四月から導入したい。民間委託により、約二千五〇〇万円程度の効果を見込んでいる。

有料広告の実施

新たな財源確保を目的に、町の広報やホームページで企業広告の掲載を実施する予定。今後、封筒についても検討したい。

災害発生時の井戸水利用

災害時に井戸を活用させていただくための要綱を策定。「応急用井戸」の募集・登録を行っていきたい。

飲酒運転の厳罰化

職員の事故取扱規定を全面的に見直す改正を十二月一日から施行した。飲酒運転で相手を死亡、負傷させた場合には免職を原則とする等となっている。



集積所に集められたごみ

補正 予算

一般会計 総額

1億4,000万円追加
78億8,500万円

総務費

- 知事・県議会議員選挙本年度執行経費 550万円
- 交通安全施設工事費 300万円

民生費

- 藍寿苑介護サービス事業特別会計繰出金 647万円
- 国民健康保険事業特別会計繰出金 2,525万円

衛生費

- 精神障害者地域生活支援事業委託料 1,140万円の減額
- 中央クリーンステーション工事請負費 1,732万円
- 西クリーンステーション管理費 500万円

農林水産業費

- 一般排水路改良費及び集落道整備費 850万円

教育費

- 学級増等に伴う児童・生徒用の机等購入費 580万円

諸支出金

- 教育施設整備積立金 (教育施設整備公社解散に伴う精算剰余金) 2,300万円

平成18年度12月補正予算(会計別の状況)

(単位：円)

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		77億4,500万	1億4,000万	78億8,500万
特別会計	国民健康保険事業	23億 850万9,000	4億7,540万2,000	27億8,391万1,000
	介護保険事業	15億9,079万5,000	5,667万5,000	16億4,747万
	藍寿苑介護サービス事業	3億2,308万7,000	583万	3億2,891万7,000

平成17年度
一般会計決算認定

歳入

歳出

76億9,283万6,827円

74億7,835万6,634円

教育問題

いじめ発生件数は町内小中学校で22件
(平成18年4月から11月まで)

問 いじめが引き金になり、自殺で多くの若い命が失われ、大きな問題になっている。県教育委員会は、四月から九月に小中高等学校で確認されたいじめの件数が二六九件あったと発表している。本町において小中学校でのいじめの件数は何件あったのか。また、今後どのように取り組み、指導していくのか。以前、議会で指摘したように、藍住中学校では今なお問題点が山積みであると思うが、真剣に取り組んでいるのか。

答 従来から重要な問題は、学校と教育委員会が一緒になつて対応策を考えているが、この際に、学校ごとに定期的な報告を求めるとも検討していきたい。藍住中学校の問題は、学校現場と十分連携を取り、皆様方に隠すことなくやっていきたい。



西クリーンステーションに集められた空き缶等

ごみ袋有料化

生活に直結した大きな問題だが



小川 幸英 議員

その他の質問

- 国民文化祭
- 税滞納金の徴収状況
- インフルエンザ予防接種

問 十二月十二日の徳島新聞に報じられて以来、平成十七年九月の大型ごみに続く有料化に、住民から反対の声が上がっている。ごみ処理量は年々増加しているが、平成十七年度の処理費用は業者変更等、職員の努力により約一億六千万円の減額となつている。それなのになぜ有料化するのか。まず、町民に対し、年々増え続けるごみの減量化への呼びかけや啓発をすべきではないか。

答 処理費用は減額となつたが、福祉等扶助費への支出は増え続けている。有料化は、ごみの減量化や排出量に応じた費用負担の公平性を図ることが目的で、ごみに対する関心を深め、大量消費や大量廃棄の生活スタイルを改めることにより減量化につながるべく、いくと確信している。

中央クリーンステーションの民営化

委託組合の選定は

適正に評価した上で決定

問 過去三十年間近く何の問題もなく、町民からも役場の職員だからできるサービスに安心して任せられ、信頼も得ていた、し尿収集業務を民間委託する理由は何か。もっと町民の声を聞き慎重に進めるべきではないか。

答 行財政改革の一環として、民間活力の有効活用、財政の健全化を図るため民間委託制度の導入を進めてきた。収集業務が町職員から組合職員に変わるもので、浄化槽の管理は現在も民間業者が実施しており、委託しても信頼ができると思えている。

いじめ防止対策

学校と連携を取りながら

適切な対応に努めたい



永浜 茂樹 議員

問 政府はいじめの緊急実態調査や相談員の拡充対策で来年度予算を待たず「補正予算」を組んだ。徳島県教育委員会も問題性や背景の根深さを認識して十二月八日いじめ問題プロジェクトチームを設置した。藍住町教育委員会としての町独自の現況対策は。また、全体でのイジメ把握件数は。今後、対策として全校での講演、クラスごとにビデオ放映等「命の大切さ」の教育指導を。

答 発生件数は平成十八年四月一日から十一月二十二日までの間で、小学校二件、中学校二〇件。教育管理職協議会で、この問題に対して再点検をし、予防と解決への学校組織をあげての取り組みを指示。また、相談窓口を教育委員会内に設置した。講演会は、機会をとらえて実現させたい。

町内各学校にAEDの導入を

来年度、小学校四校に設置予定

問 町内の児童、子ども達の緊急安全対策として、早期に小学校全校に一台ずつの導入を。

答 本年度は中学校二校と保健センター、役場庁舎の合計四台を購入し設置した。また、平成十八年八月に社団法人 鳴門法人会からの寄贈を受け、庁舎四階のコミュニケーションセンターに設置している。

町政懇談会の内容と今後の対応は

周知方法等の指摘や意見は、今後、十分心がけたい



町政懇談会の様子 (住吉老人憩の家)

問 計画の主旨に問題があるのでは。町の世帯数一、五四六戸に対して八開場全部の参加者は一四三人で一・二%と少なく、また、内容資料も説明不足である。山積の重要案件や民間委託問題等を提示しての人集めや、各地域の方、各種団体、PTA、婦人会、老人会に呼びかけや連絡をし、多数の方が参加されているの対話集会を願う。

答 今回の町政懇談会では、財政状況や今後の行財政改革への取り組み、市町村合併の状況等について説明をし、参加者からは、人件費等の経費節減、滞納対策、合併構想、ごみ袋の有料化や業務の民間委託等の意見をいただいた。これからも情報を公開し、行財政改革について、あらゆる機会を通じて、町民に説明し、理解を得られるよう努力したい。

その他の質問

- ごみ対策、ポイ捨て対策等条例にともなう啓発活動
- 県道に公共防災避難場所の表示と渋滞対策

介護難民、医療難民、障害者、生活困窮者などの救済は？

制度が適正に運営されるよう努めていきたい

問 政府の税制改正、医療制度改正、介護保険制度の見直し、障害者自立支援法などで、私たちの暮らしと生命を支える社会保障制度がガタガタになった。そのため生活困窮者が続出している。町内での状況はどうか。また、「生活保護」などの救済はできるのか？

答 介護、医療、障害福祉サービスについて制度の中で低所得者への負担軽減等が図られている。生活保護の状況は、平成十七年度の新規保護が三四件。申請理由は、病気で働けない等が七六%、事情により職に就くことが出来ないが九%等である。支給日には、県担当者と共に出来る限り本人と面談し、自立に向けた相談を実施している。

子どものいじめや自殺対策は？

重要な情報や問題点等は、明らかにし議論することが問題解決には必要



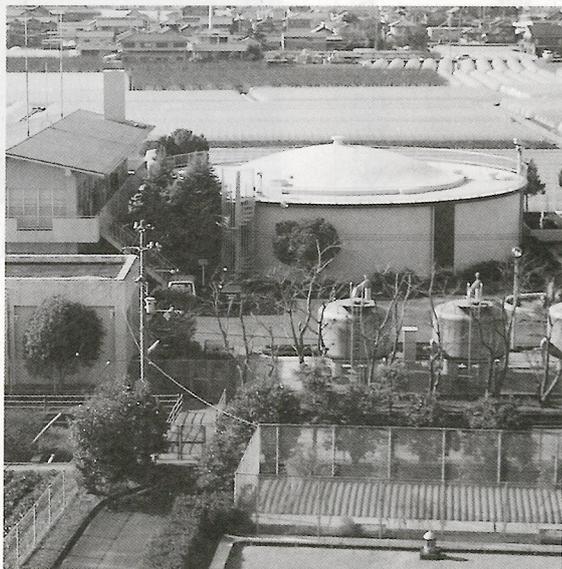
喜田 敏夫 議員

問 子どものイジメによる自殺が多発している。この事件で教育委員会や学校の隠ぺい体質が明らかになった。親は平気で学校や教師を批判しているが、元来、子どもの教育は「親」がするべきものと考え、PTAなどの機能を發揮して保護者と学校が徹底的に話し合うことが解決の道と考えるが教育長は何か対策はあるか？

教育委員会相互の信頼関係を築き、緊急な場合に対応できるようにしておくことが大切だと考えている。

答 教育委員会は、常に学校をバックアップする役割を忘れず連携して事に当たり、適切な措置が取れるよう心がけている。

常日頃から保護者、学校



第2浄水場配水池（貯水タンク）

下水道事業は町財政の破綻への道

下水道事業は状況を見極め期間延長も含めて慎重に推進

問 町長は先の「町政懇談会」で財政健全化のために「公共事業の見直し」をあげているが、現在、進めて

いる「下水道事業」や、あまり役に立たない「貯水タンクの建設」は町の財政健全化に逆行しているのではないか。「言っていること」と「やっていること」が合致していない。早急に中止することが「財政健全化の道」であると考えらるかどうか？

答 貯水タンク建設について、本町の配水池容量は水道施設設計指針の容量を下回っており、老朽化も進んでいるため早急な整備が必要となっている。自然災害時の防災対策としては是非必要な施設であり、コスト削減に努め整備を進めたい。

その他の質問

● 土地改良区の転用決済金

町政のここが聞きたい

高齢者にさらなる増税の追い打ちが

定率減税や六十五歳以上の 非課税制度廃止の影響がある

問 景気拡大は戦後最長で「いざなぎ景気」を超えるといわれているが、その実感はなく、仕事も暮らしも落ち込み貧困と格差が広がっている。行政の役割は、町民の暮らしを守ることを優先すべきだ。六月には、高齢者に対する過酷な増税。来年も続くがその影響は、あわせて来年度は税源移譲により地方税が上がるが、その影響は。

答 税源移譲により、ほとんどの方は平成十九年一月分から所得税が減り、六月から住民税が増えることになり、所得税と住民税を合わせた税負担は基本的に変わらないよう制度設計されている。

障害者控除の認定で 負担を軽減せよ

一律に判断するのは難しい

問 全国の自治体では、高齢者の負担を少しでも軽くしようと介護認定を受けている方へ障害者控除証明を発行し喜ばれている。福祉の町を掲げるなら本町でも実施すべきだ。

答 要介護認定と障害認定は、その判断基準が違うため要介護認定の結果のみで一律に判断することは難しいと考える。
現在の組織、体制の下、今まで以上に親切、適切に対応していきたい。



林 茂 議員

下水道事業より町民の暮らしを優先

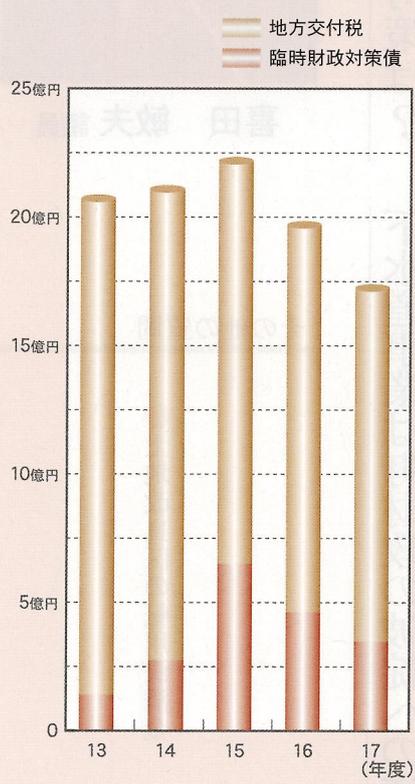
公共下水道は生活環境整備として必要

問 地方交付税が平成十五年度と十八年度を比べると五億七千万円程度削減。下水道事業を推進しても財政は、心配ないか。
夕張市の借金は、マスコミでも大きく取り上げられたが、下水道事業を推進した結果、夕張市より財政が

悪化している市町村が多数あるのを御存じか。(朝日新聞十一月八日付)
ごみ袋の有料化やし尿収集の民間委託、幼稚園の特別保育料を値上げしなくてもよい。障害者に対する支援などに、大切な税金を使うべきだ。

答 本町においては厳しい財政状況を強いられており、引き続き集中改革プランに基づき行財政改革を進めて行かなければならない。下水道については、各年度の財政状況を見極めながら計画延長を含め慎重に取り組んでいきたい。

藍住町地方交付税及び 臨時財政対策債の推移



教育委員会改革

関係各種委員と連携を求めながら対処していきたい

問 本町における教育行政の課題・問題点への取り組みと、いじめ問題・給食費徴収についての具体的対策について尋ねる。教育現場での様々な問題は教育委員会改革で解決できると考える。女性委員を含む新委員には期待する。

答 いじめ問題は対処療法的な取り組みと同時に、道徳・人権教育の中でしっかり教育することが重要であると考え。給食費滞納者の分析は保護者と直接関わり、生活実態が把握できる先生を中心とした取り組みが効果的であると考える。

子育て支援への取り組み

特別な事情がある場合には

考慮した上で判断している



西岡 恵子 議員

問 保育所入所は本来、家庭で保育に欠ける児童であるが、入所申し込みに対し、親以外の家族が精神的にも協力出来る体制になるよう現条例のゆとりある解釈を望む。待機児童対策、開放保育の現状・効果についても尋ねる。

答 本町への転入条件の一つに子育て支援の充実があげられている。期待を裏切ることなく、さらなる子育て支援・親育てへの取り組みをお願いする。

答 待機児童は発生しないよう努力をしているが、年度途中の定員増加について保育士が確保できない状態

が続いている。開放保育は地域全体での子育て支援との主旨で、毎週、火・木曜日に中央・東保育所で実施しており、利用することにより子育てへの不安が少なくなつた方もいる。



中央保育所 絵本コーナー

ごみ袋有料化と、し尿収集の民間委託

ごみ袋の有料化は広報等で

お知らせする予定

問 ごみ袋有料化については町民への説明不足、また、町民の声を聞く場が必要である等、有料化については、まだまだ検討の余地があると考え。民間委託へのメリット・デメリットについて尋ねる。町職員の直接収集で何の問題もなく町民の安心につながる業務をなぜ委託なのか、サービスの低下が懸念される。

答 民間委託のメリットは、民間のノウハウを幅広く活用し、住民サービスを維持しながらの事務の効率化が期待できることであり、デメリットは民間委託に対する住民の不安が考えられるが、委託組合は適正に評価決定し、事業の円滑な運営を実施するため運営協議会を設置する等、住民サービスの向上に努めていく。

委員会報告

建設産業、文教、総務の各常任委員会が開催されました。

12月定例会で報告された内容をお知らせします。

十月二十日、開催し、通学路を中心とした町道、富吉ふれあい農園、下水道工事箇所等、現場視察した後、質疑を行なった。

龍池猪熊線の町道整備は、長年の交渉過程があるが具体的な話には至っておらず、住吉若宮の歩道については、用地買収も必要であり、予算的に非常に厳しいが、

子どもの安全・安心のため、どのような方法が良いかを今後も検討したいとの答弁であった。委員から、勝瑞

建設産業

児童館前の県道には歩道がなく、小学校から児童館へ行くために児童館運動場の出入口を通用門にできるのでは。町で対策できる所はしていくという姿勢を見せ

て欲しいとの意見が出された。

下水道工事の進捗状況は、一期計画の全体の延長が一万九千mで三六%の進捗状況とのこと。また、農地防

災事業、県管地盤沈下、下水道、水道と四本の管が入る道路もあり、一本化して維持管理できるシステムの構築はその質問には、水道課と下水道課は可能であるが、農水管等の部分

は今後、協議をしていきたいとの答弁であった。

政治倫理条例を制定してはとの意見があり、議会全員協議会に諮らなければならぬが、委員会としては賛成の立場との意見となった。

十一月二十四日、開催され、学校のいじめ問題、不審者対策、災害時の対応について質疑を行なった。

いじめ問題については、学校で確認しているのは四月から十一月現在までで小学校二件、中学校二〇件との報告があった。

いじめ問題等に対し、学校と教育委員会の連携を強化し、信頼し合える関係を作ることが大切であり、教育委員会ぐるみで対応してほしいとの意見があった。

不審者対策について、不

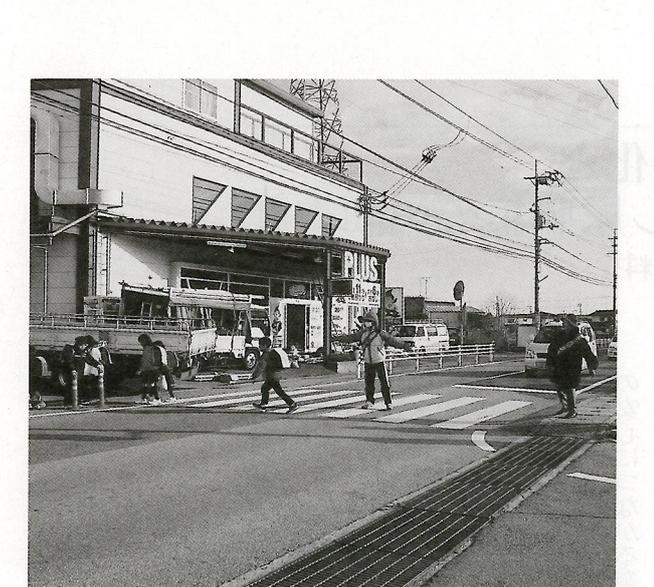
文教

審者情報は継続的にあり今後も十分警戒する必要がある。また、警察への通報は、補導センターを経由することもあるが、重大な場合は、直接している。下校時の見

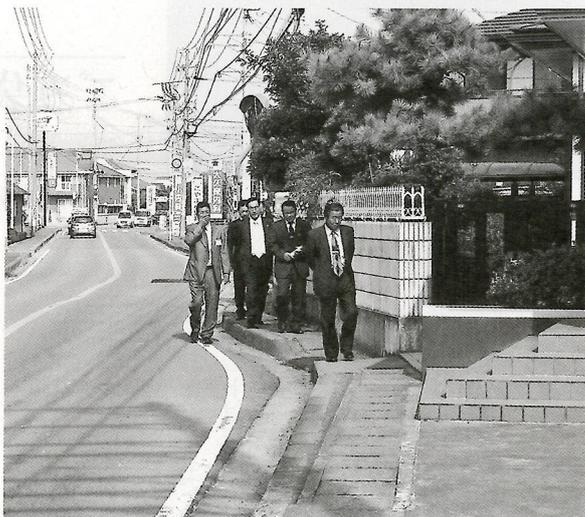
たすきを配付し町内全域での運動ができていくとの答弁であった。

公共施設の耐震化については、予算要求を年次計画で上げて行く。古い順となるが学校が地域の避難場所に指定されている所から優先的に考えて行きたいとの

答弁であった。



子どもを見守る地域活動



現場視察する委員

請願

議員提案の請願は2件が採択されました。

- 消費税の税率引き上げに反対する請願について ……採 択
- 住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願について ……不採択
- 老年者控除、公的年金等控除、定率減税の縮小や廃止をやめ、もとに戻す請願について ……不採択
- 乳幼児医療費助成の拡充を求める請願書について ……採 択

陳情

3件の陳情がありました。

- ▼じん肺被害者の早期救済とじん肺やアスベスト被害、また、振動障害根絶の取り組み要請
陳情者 2006年なくせじん肺全国キャラバン実行委員会
「なくせじん肺・すべての労災職業病の根絶を」全国キャラバン徳島実行委員会
- ▼電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い
陳情者 社団法人 徳島県設備業協会
- ▼公共事業費予算の増額確保と社会資本整備に対する重点投資等について
陳情者 社団法人 徳島県建設業協会徳島支部

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

…… 投稿規定 ……

- 1 住所・氏名・電話番号を明記。
- 2 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 3 字数は500字以内。
- 4 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

本会議を傍聴しませんか？

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承下さい。

定例会案内

次の定例会は3月です。次号は5月に発行します。

●お問い合わせ●

議会事務局 ☎637-3127

常任

十二月五日、開催され、税、使用料等の徴収状況と政治倫理条例について質疑を行った。

滞納整理機構への移管は、納税の意思の確認を行い、判定委員会で移管者を決定しており、私にいたくても払えない方は、税務調査や資産等で判断していく。また、徴収率を上げる体制として、納税交渉をおこない、差し押さえを前提として進めていき、払いたくても払えない方には、個別に納税相談

総務

を受ける中で徴収方法を決定して行かざるを得ないと回答であった。

水道使用料の滞納対策として、給水停止措置もとっている。学校給食費未納に

は、滞納を分析し効果的な対応、方法を検討して行きたい。また、職員一丸となり徴収してはとの質間に職員の意識改革という気持ちの上では必要であるが、

専門知識も必要で具体的に徴収業務を行うのは難しいとの回答であった。

町の財政状況は、新たな起債を抑えてきた効果は出ているが、交付税等、税源

ではないと考えているとのことであった。政治倫理条例については、議会全員協議会で諮り議会全体で協議していくこととなった。

税で支える
幸せな暮らし



わたしの一言



住み続けたい藍住町 矢上 金村八千代さん

私には、4人の子供がいます。一番上と下では8歳の差があり、「只今、子育て真最中」といったところです。当たり前のことですが、4人4様、性格も違うし、年齢によつての生活環境もそれぞれで、一人の心配事が終わると次の子の心配事がやってくるといった毎日を過ごしています。

4人でもそうなので「町」ともなると、いろいろな人がいて、必要としている事も違っていて、大変だとは思いますが「正直者がバカをみる」ということのない様をお願いしたいと思います。税金や住居費、学校の給食費の未払いのことを耳にすると、なんともいえない気持ちになります。

藍住町に引っ越してきて12年。周りの方にも恵まれて、楽しく暮らしてこられたことをうれしく思っています。一生、藍住町に住み続けたいと思っているからこそ「破綻」なんてことにならない様に「藍住町にとって、これから必要なこと」をよく吟味して、表面的ではない心のこもった町政を、お願いしたいと思います。

子供達が大人になった時も、ずっと住みたい町である様にしてほしいと思います。

議会のうごき

Schedule

11月

3日 各種功労者表彰式
3〜5日 議員視察研修(山口県・福岡県・佐賀県)

6〜7日 一般会計決算審査
7日 民生委員推薦会

8日 議会だより編集委員会
板野郡議長会議員研修

10日 二〇〇六秋・県民要求
実現キャラバン
(松茂町)

11日 藍住町戦没者追悼式
14日 板野郡町議会議長会定
例会(松茂町)

20〜22日 第50回町村議会議長全
国大会・板野郡町議会
議長会視察研修

(東京都・群馬県・埼玉県
文教常任委員会
議会運営委員会

27日 浄化槽タウンミーティ
ング(徳島市)

12月

1日 議会だより編集委員会

3日 藍住町吟剣詩舞大会

5日 総務常任委員会

6日 第28回藍翠苑祭

11日 12月定例議会開会
議会全員協議会

18日 12月定例議会一般質問
12月定例議会閉会

21日 板野西部青少年補導セン
ター組合議会(板野町)

25日 鳴門市正副議長就任挨拶

1月

7日 藍住町成人式
議会全員協議会

9日 板野東部消防組合消防
出初式

10日 防災訓練(すみよし団地・
東中学校武道館等)

20日 県選出国会議員と県内
各市町村長・議会議長
との対話会(徳島市)

21日



編集後記

新年を迎え、はや二月が過ぎようとしております。

今年の十二月議会においては、町理事者から住民に直接関係のある、ごみ袋有料化や、し尿収集業務民間委託案が提出され、賛成や反対討論も真に迫り、議会の本来の姿である住民の為の政治姿勢が伺われました。また、この問題は町民の皆様に関心も高く、二十名近くの方々の傍聴もあり、町長はじめ理事者や議員にとつても活発な質問や答弁がありました。今後も議員一人一人の資質を高め、住民の皆様が安心して住むことのできる町づくりに取り組んでいきたい。

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西岡 恵子 |
| 副委員長 | 小川 幸英 |
| 委員 | 林 茂 |
| 委員 | 喜田 敏夫 |
| 委員 | 奥村 晴明 |